

# HB-style



ENJOY! 研究ライフ!! 宮原 寛和

特集

修士論文・卒業論文発表会

2010 | Feb. | vol. 12

 光物性研究室

# Enjoy! 研究ライフ!!



High Speed Bullet  
宮原 寛和

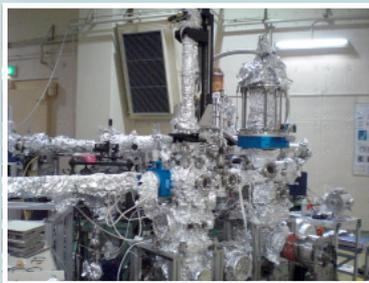


しくて。今では大学祭やライブハウスで演奏するまでに成長しました。いろいろ試して失敗しながらも完成に近づけていくこと。とても貴重な経験をしました。苦楽を共にしたメンバーは何ものにも代えられない宝物です。

## 研究発表

今まで取り組んできた事を人前で発表し、自分を表現するのはとても重要だと思います。ライブ活動は、自分達の感覚や情熱を周りの人に聞いてもらいたい、評価して欲しいという気持ちの現れです。

僕が光物性研究室を選んだ理由も「発表する」という点にあります。光物性研究室は研究成果を論文や学会で数多く発表しており、卒業論文発表会でも毎年賞を受賞しています。厳しいと評判でしたが、どうせやるなら荒波にもまれプレゼンテーション力を身につけ、先頭を走ってやろうと思いました。弾丸が真っすぐ突き進むように一直線に研究に取り組み、先日ついに研究発表を行いました。ライブとは全く異なる緊張感。先生方の真剣な眼差しと



容赦ない質問に冷や汗をかきましたが、持てる知識を使い最大限のアピールをしました。僕の一年間の努力と情熱が先生方のハートを撃ち抜いたと確信していま

す。今後の研究では、学会発表や論文投稿にも挑戦し、多くの方に自分を知ってもらえるように努力しようと思います。卒業研究を支えてくれた全ての方々に感謝します。

## 9 mm という弾丸

僕は小さい頃から怖いもの知らずな人間で、自転車で車道を逆走したり、勢い余って田んぼに突っ込んだりで失敗も多かったです。自分自身、無鉄砲な性格だと自覚しているんですがマイナスだとは思っていません。だって、弾丸は真っすぐ飛んで行くんです。僕は物事にのめり込むと脇目も振らずがむしゃらに取り組みます。大学1年からエレキギターを始めましたが「Fコード」の嫌らしさに舌打ちをしました。5本しか指がないのに6本の弦を同時に押さえるとかって何なん!?て(笑)。左手で弦を押さえて右手でリズムをとり、さらに歌を歌うのが半端なく難しくて挫折しそうになりました。でも、メンバーと一緒にワイワイやるのが楽しくて楽

# 修士論文・卒業論文発表会



光物性研究室に入って3年。長いようで短い時間が終わろうとしている。遊びに出かけたり実験したりして研究室生活を楽しく過ごした。特に自分達で企画したゼミ合宿は面白かった。会場を探し、M1が一丸となって計画を練った。研究室メンバーのくっつくの笑顔。成功を確信した瞬間だった。

研究室での思い出は楽しい事がほとんどだが、身を切るような大変な思いもした。卒業論文…。あの忙しさは今思い出しても鳥肌が立つ。自分のふがいなさに腹を立て、締め

切が迫ってくる恐怖と戦った。発表会では緊張で体が硬くなり、ワキ汗が異常に流れたのを覚えている。今年の4年生は肝が据った元気な発表だった。以前の自分を顧みて脱帽の思いだ。

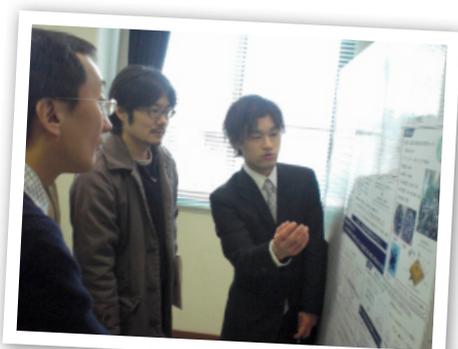


かげか、修論作成とその発表会では満足のできる結果が得られた。確かに自分の成長もあった。しかし、一番の支えとなったのは友達であり仲間である叶丸、山田、内海、中島の存在だ。根詰めてイライラした時でも仲間が側にいた。笑い、議論し、互いを理解し合った。本当にいいメンバーに巡り会ったと思う。研究室での3年間。大切な親友との3年間。一生の財産となった。

研究を支えてくださった先生方、先輩方、親友、家族の皆様感謝いたします。  
M2 田頭 徹朗



今度は自分、修士論文である…。卒論の二の舞にはなりたくなかった。だから修士に入って一生懸命勉強した。少しずつ固体物理がわかり始め、論理的な考え方もできるようになった。就職活動や学会発表で人前で話す事が多くなり、場数を踏むことは安心に直結した。そのお



# 2010年2月 光物性研究室カレンダー

## 2/10(水) 卒業論文・修士論文の提出

10日(水)、卒業論文と修士論文の提出が行われた。光物性研究室で研究を行ってきた学部4年生と修士2年生は、睡眠時間を削りながら夜遅くまで論文を作成した。提出を終えて安心感と脱力感に浸っていたメンバーであったが、数日後に控えた論文発表会へ向けて、スライド作成や発表練習を行った。



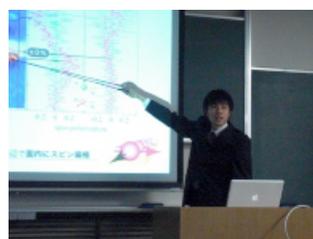
## 2/12(金) 卒業論文発表会

広島大学理学部で12日、理学部物理科学科に在籍する4年生による卒業研究の発表会が開かれた。光物性研究室に在籍する長井、金、長門、羽淵、宮原は、座学や物性セミナーから知識を学び、自分の手で実験を行うことで理解を深めてきた。発表会では口頭とポスターにより発表し、議論を交わした。



## 2/16(月), 17(火) 修士論文発表会

16・17日、博士課程前期2年生による修士論文発表会が行われた。修士卒業生として叶丸、田頭、山田が、博士課程後期進学者として内海、中島が審査を受けた。パワーポイントを用いた口頭発表では、光物性研究室の持ち味であるプレゼンテーション力が光り、固体物理の最先端研究へ観衆を引きつけた。



## 2/25(木) 博士課程後期進学者 合格発表

25日、広島大学 大学院理学研究科 物理科学科専攻 博士課程後期受験者の合格者発表があった。午前11時、理学部前掲示板で受験番号を見つけた内海と中島は、歓声を上げ喜び、今後の研究活動に胸を膨らませた。



## 編集部からのお知らせ

### スタッフ募集

HB-style 企画・編集に参加していただける方を募集しています。

### 企画の募集

4月号から「教えて！中島先生!!」の連載を企画しています。そこで、中島先生に教えてほしい事柄を募集します。進路相談、恋愛相談、身近な疑問・質問など何でも結構です。お気軽にお寄せ下さい。また、その他に取り上げてほしい企画やテーマも募集しています。気軽にお寄せください。

### 今後の企画について

「液体 He の汲み出し」、「理学部 D 棟」、「HiSOR II 計画の現状」、「Igor」、「教えて！中島先生!!」  
「光物性 OB / OG に聞きました」などのトピックを考えています。

### 発行予定について

毎月の発行を予定していますが、作者の都合により遅延、または休刊となる場合があります。ご了承ください。

企画・編集 : 安齋太陽 (写真 右)

編集・取材協力 : 黒田健太 (左)、古本 一仁 (中央)

